

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	開戸センター
	所在地	あきる野市淵上332番地1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係
指定管理者	名称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外(植木等のせん定を含む。)、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページURL	http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html	
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	

2 施設の利用状況等について

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館等日数(日)	251	185	226	264	273
延べ利用者数 必須事業(人)	2,985	2,245	2,820	3,439	3,226
前年度比(人)	△264	△740	575	619	△213
前年度比(%)	91.9%	75.2%	125.6%	122.0%	93.8%
延べ利用者数 自主事業(人)	3,188	1,829	2,898	3,964	3,981
前年度比(人)	△400	△1,359	1,069	1,066	17
前年度比(%)	88.9%	57.4%	158.4%	136.8%	100.4%
利用料金 必須事業(千円)	2,537	1,908	2,397	2,923	2,742
前年度比(千円)	△265	△629	489	526	△181
前年度比(%)	90.5%	75.2%	125.6%	121.9%	93.8%
利用料金 合計 自主事業(千円)	1,917	1,080	1,660	2,261	2,307
前年度比(千円)	△187	△837	580	601	46
前年度比(%)	91.1%	56.3%	153.7%	136.2%	102.0%

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
収入	指定管理料	13,567	13,420	13,420	13,567	14,668
	利用料金収入	2,537	1,908	2,397	2,923	2,742
	自主事業収入	1,917	1,080	1,660	2,261	2,307
	その他の収入	0	644	0	0	0
	収入計	18,021	17,052	17,477	18,751	19,717
支出	人件費	11,820	11,028	11,236	12,042	12,279
	維持管理経費	4,721	4,156	4,904	5,559	5,214
	自主事業関係経費	450	667	713	391	460
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	16,991	15,850	16,852	17,992	17,953
収支(収入-支出)	1,030	1,202	625	758	1,764	

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
開戸センターでは意見箱の設置により広く声を聞くとともに、利用者様との会話の中から要望やニーズに応えるように努めています。また、法人内の栄養課とのコラボで嗜好調査を行い、現在でも評判が良い昼食ですがさらに満足していただける工夫をしています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
センター入口、玄関前のお花が癒される。また、職員の挨拶も元気が出ると言われます。センターに来て下さる皆様に気持ちよく利用してもらえる努力をしています。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
市民の皆様センターを知っていただくために、Instagramの投稿や市報、活動予定表の配布、口コミ等周知活動に力を入れています。はじめて利用された方からはもっと早く利用したかったという声が聞かれます。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
経費削減のため、送迎のルートや順番等無駄をなくしました。また、冷暖房のこまめな温度設定など細かい所にも気を配りました。 活動内容もリサイクル品を活用するなど、経費の節減に努めています。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
必須事業については、センターの役割を明確にして、生きがいや楽しみになるように要望にお応えしています。現在、週2回まで利用できるところ1回の利用者様が全体の4割程度います。1回から2回利用につなげるため、アンケートの活用やニーズに合った活動内容の取り入れに重点を置き行います。 自主事業については、参加人数の少ない講座の見直しや周知・広報活動、予定表の配布、声掛けに力を入れていきます。また、好評をいただいている「麻雀大会」や3センター合同で行う「大型企画」の継続し、利用者の増加を図っていきます。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
利用者へのアンケートや日頃の会話からニーズを把握し、事業展開するよう努めていることは評価できます。また、昼食の嗜好調査を行い、利用者の満足度を上げる工夫も見られ、サービス向上による利用者の増加につなげる取組がされています。
経費削減の取組
物価高騰の影響がある中、維持管理経費が前年度より抑えられており、冷暖房のこまめな温度設定や送迎の工夫などを徹底した結果が出ています。また、活動に使用する材料にリサイクル品の活用がされており、引き続き、センター運営に支障が出ないよう心がけ、経費削減に取り組んでください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
新たな指定期間の一年目でありましたが、利用者の介護保険への移行による利用者数の減少は見られるものの、ニーズに応じた活動を充実するなど、利用者には喜ばれる取組がされています。また、収支についても概ね計画どおりであり、適正な施設運営が図られています。 引き続き、利用者の増加を図るとともに、安全かつ快適で利用しやすい施設の管理運営に努めてください。

総合評価	A
------	---

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。